

## 令和8年度 学校評価表

(中間・期末)

大崎上島町立木江小学校

学校教育目標	「自分で考え 進んで行動する 木江っ子」	経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命)「大崎上島町教育推進プラン」を推進し、知・徳・体のバランスのとれた質の高い教育を実現することで、大崎上島の将来を担うたくましく生き抜く子供を育成する。 【ビジョン】(学校の目指す姿)・木江小学校区のひと・もの・ことを「つなぐ」存在であること ・保護者や地域からこの学校に通わせてよかった、応援してよかったと思わせる学校 【ポリシー】(自校の経営方針)「みんなの笑顔がつながる学校」・心理的安全性を確保し、自己肯定感・自己有用感を育成する。・自己調整学習能力を育成する。・基礎学力をつける。
--------	----------------------	--------------------	--

評価計画					自己評価					学校運営協議会委員	改善方策	
	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	評価項目・指標 (効果をみとる目安)	目標値	達成値	達成度	評価	担当部 責任者	結果と課題の分析	コメント	改善方策
確かな学力	児童の主体的な学びを創造する。	◎主体的に学習に取り組む態度を育成する。	○児童どうしの対話を中心に考えを深め、課題解決に向けて協働して学習に取り組ませる。	学期毎の児童の自己評価と教師評価	教師85% 児童85%				教務研究部 (上川) (望月)			
		○各種学力調査の目標値を達成させる。	○少人数指導や複式学級の指導のよさを生かし、児童一人一人にきめ細かい指導を行う。	標準学力調査	全国平均+5ポイント				教務研究部 (上川)			
豊かな心・健やかな体	心身ともに健康な児童を育成する。	◎気持ちのよい挨拶や返事ができる。(社会技能の育成)	○ソーシャルスキルトレーニング「ほかほか朝会」(毎月1回)を企画し、社会技能の育成に取り組む。	各回で目標が達成できた児童の割合	80%				保体生活部 (立田)			
		◎健康的な生活について理解を深め、実践できる力を育成する。(自己管理能力の育成)	○基本的な生活習慣定着に向けて、児童一人一人に具体的な目標を設定させ、自己管理ができる児童を育成する。	目標が達成できた児童の割合	80%				保体生活部 (大政)			
信頼される学校	学校や地域を誇りに思う児童を育成する。	◎「大崎上島学」を推進する。	○ふるさと「大崎上島町」の学習を通して、地域を誇りに思う児童を育成する。 ○地域の人材・自然・文化・伝統などを「島まるごと教材」として教育内容に位置づけ、活動を行う。	・児童の自己評価 ・教師評価	児童90% 教師100%				教務研究部 (望月)			
	開かれた学校づくりに努める。	○地域の方の来校の機会を増やす。	○学校環境の整備など、学校だよりや地域回覧でよびかけ、地域の方と共に活動し、交流の場を作る。	教師評価	教師100%				教頭			
	業務改善を図る。	○児童と向き合う時間を確保し、長時間勤務の減少を図る。	○業務の進め方の改善を図る。 ○個別業務の精選・省力化の工夫を図る。	教師評価	教師90%				教頭			

本年度の重点目標については◎印で示す。

【自己評価】  
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100